

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年11月10日

計画の名称	吉野ヶ里町における都市環境の整備及び公共用水域の水質保全												
計画の期間	平成28年度 ~ 令和02年度 (5年間)										重点配分対象の該当		
交付対象	吉野ヶ里町												
計画の目標	下水道の整備促進により、生活環境の改善や公共用水域の水質保全を図り、安全で安心して暮らせる生活環境を確保する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	486	A	486	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		平成28年当初	平成30年末	平成32年末
1	下水道処理人口普及率を58.7%(H28当初)から93.1%(H32末)に増加させる。(農集排と公共下水道の統廃合事業)			
	下水道処理人口普及率(%)	58%	89%	93%
	下水道を利用できる人口(人)/ 総人口(人)			

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-001	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	管渠(汚水)	新設	西部污水幹線整備(未普及対策)	污水管L=335m マノルホップ場1箇所	吉野ヶ里町					126	-		
	A07-002	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	管渠(汚水)	新設	前川污水幹線整備(未普及対策)	マンホーホップ場設置1箇所	吉野ヶ里町					30	-		
	A07-003	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	管渠(汚水)	新設	公営住宅排水区整備(未普及対策)	面整備 A=3ha (150mm~200mm)	吉野ヶ里町					100	-		
A07-004	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	管渠(汚水)	新設	工業団地排水区整備(未普及対策)	面整備 A=18.7ha (150mm~200mm)	吉野ヶ里町					150	-			
A07-005	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	管渠(汚水)	新設	吉田一本柳-1排水区整備(未普及対策)	面整備 A=0.2ha (150mm~200mm)	吉野ヶ里町					10	-			
A07-006	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	管渠(汚水)	新設	吉田上の原-1排水区整備(未普及対策)	面整備 A=5.2ha (150mm~200mm)、道路復旧工A=250㎡	吉野ヶ里町					35	-			

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
下水道事業	A07-007	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	-	-	佐賀東部工業団地排水区整備(道路復旧工事)	道路復旧工 A=875㎡	吉野ヶ里町						15	-	
	A07-008	下水道	一般	吉野ヶ里町	直接	吉野ヶ里町	管渠(汚水)	新設	萩原中瀬尾-1排水区整備(未普及対策)	面整備A = 440㎡	吉野ヶ里町						20	-	
												小計						486	
												合計						486	

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制 吉野ヶ里町建設事業課にて実施	事後評価の実施時期 令和4年3月
	公表の方法 事後評価後ホームページにて公表する
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	老朽化対策や耐震対策を進めることで下水道事業の持続性を高め、サービスの向上に寄与した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
次期社会資本総合整備計画においても引き続き計画的な下水道施設の老朽化・耐震対策を行うことにより、公共用水域の保全を図りながら住民に良好かつ持続的なサービスを提供する。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	93%
	最終実績値	92%
		未普及対策については計画的に進めることができたが、計画期間内での人口増減により目標値には若干及ばなかった。